

はじめに

我が国においては、世界に類を見ない早さでの少子高齢化社会の到来と国際化の進展に伴う本格的な国際交流が見込まれる中で、観光立国の実現が21世紀の我が国経済社会の発展のために重要課題の一つとして掲げられ、昨年1月施行された「観光立国推進基本法」の下、国際観光の振興や観光旅行の促進のための環境の整備などの施策に官民一体となって取り組みが始まっています。

北陸地域には、日本三名園の一つである「兼六園」、世界遺産リストに登録された「五箇山合掌集落」、国の天然記念物・名勝に指定されている「東尋坊」など、世界的にも有名な観光地や名所旧跡が多数存在しており、多様化する観光客のニーズに的確に応えることによって国際競争力の高い魅力ある観光地を形成することができます。

このような背景のもと、北陸総合通信局では、電波を利用して地域の観光振興・産業の支援に資することができるよう、平成19年10月より、「高速無線LAN技術等を活用した観光情報支援システムに関する調査検討会」を開催しました。

本調査検討会では、観光客等に対する情報提供の現状と課題を調査し、情報通信技術（ICT）を活用した観光情報支援システムに求められる機能等を検討しました。更に、その検討結果を踏まえて、高速化が図られている無線LANや携帯端末向けサービス（通称「ワンセグ」）の映像配信技術を活用したシステムを構築し、通信試験による検証を行い、観光情報支援システムの実用化に向けた課題や方策などを明らかにしました。

本報告書は、これらの調査検討結果を取りまとめたものであり、これが今後の観光情報支援システムの実現並びに地域の観光振興を図るうえで、少しでも役立つことがあれば、幸甚にございます。

最後に、昨年10月から4回にわたって開催してきた検討会において、ご議論をいただいた構成員の皆様、通信試験会場としてご協力をいただいた金沢城・兼六園管理事務所様、財団法人金沢芸術創造財団様、観光コンテンツのご提供をいただいた石川県商工労働部産業政策課（石川新情報書府事業）様及び金沢市観光交流課様、他関係各位に深くお礼を申し上げます。

平成20年3月

高速無線LAN技術等を活用した観光情報支援システムに関する調査検討会座長
金沢工業大学工学部情報通信工学科教授 廣田 哲夫
